



那谷寺の紅葉

今年度のメインイベン
トの二つ成功裏に終了
まず、十月十九日
(木)には、四年ぶり
のバス旅行「美術の秋
を楽しむ日帰り滋賀旅
行」が挙行され、翌週
の十月二十三日(月)
には、当会のサークル
活動発表会がアオツサ
六階のレクルームAで
行われました。
以下、両イベントの
状況を報告いたします。
**「美術の秋を楽しむ
日帰り滋賀旅行」**
このバス旅行は、
三十八名の参加を得

福井いきいき会新聞

2023年11月
発行：福井いきいき会
福井市中央1-9-29 : 0776-28-6464
発行責任者
吉岡副会長

て、快晴の下挙行されまし
た。朝、八時四十分に福井
駅東口から、福井中央観光
バスの大型バスで出発し、
一路滋賀県に向かつて北陸
道を走行、米原で名神高速
道に入り、さらに近畿自動
車道経由で、最初の訪問地
である滋賀県立陶芸の森の
陶芸館に向かいました。目
的地近くでは、道の両側に
は多くの陶器の店が並び、
やがて陶芸の森という看板
のところで右折し緩やかな
坂道を行くと左側の小高い
丘陵地によく整備された関
連施設が現れました。陶芸
館は、小さな丘の上にあり、
周辺には、面白い陶芸の像
が配置されていました。目
指すは、大阪万博の太陽の
塔で有名な芸術家岡本太郎
の「特別展 岡本太郎アーチ
トの夢」でした。
展示作品は、近代装飾陶
器、パブリックアート作品
など、大型の陶芸作品が多
く、また制作中の本人の写
真もありました。新たに開
発した陶器に赤い色を出す
技術を使って制作した椅子



写真上から、信楽焼展示場、
平山郁夫画伯の絵の展示、
佐川美術館

も展示されていました。改めて岡本太郎はすごい芸術家だと感心しました。

次の見学場所は、信楽産業展示館でした。お昼の時間だったのでまずは、同館のカフェレストラン「山とおむすび銀月舎」で、信楽焼の釜で炊いたおむすびとスープを特徴とする昼食をとりました。参加者は、それぞれ仲間同士で食卓を囲み、団らんのあと、展示館に移動して、いろいろな信楽焼製品を見てまわりました。ここで、信楽焼を購入された方も多かつたようです。

三つ目の見学場所は、佐川美術館でした。大部分が水庭に浮かぶように見える展示館という触れ込みでしたが、展示館は、深さ十七センチほどの澄み切った水のブルーに囲まれており、建物の中からもきれいな水面が見えて、まさに水に浮かぶ美術館でした。ここで

参加者の記念写真をとりました。美術館の内部には、平山郁夫画伯の日本画の数々が展示されていました。細い線で輪郭をとった人物像や風景に柔らかな色彩の色を輪郭からはみ出すように描いていく独特の描き方に参加者の多くの方も感心して鑑賞していました。

同館には、具象彫刻家佐藤忠良の作品も展示されました。躍動感あふれる肉付けと、堅実なフォルムの「頭像」「女性像」などは、見ごたえがありました。今回は、ガウディとサクランダ・ファミリア展が企画展として開催されています。世界中の人々を魅了しています。百点以上の図面、模型、写真、資料に最新の映像をまじえながらガウディ建築の豊かな世界が展示されていました。参加の方々は、



佐川美術館前で記念写真

靈河（よしかわ）氏は、住職でありながら、音楽に長けておられ、昭和六十年にNHKが全国募集した「福井みんなのうた」でグランプリに輝いた「九頭龍川」の作詞作曲家でもあります。ギター演奏も得意で、各所でギター弾き語りで法話をしておられます。お話を聞くのを楽しみにして例会にいきましょう。

令和5年11月の行事予定表

日	曜日	活動場所	開始時間	行 事 名
1	水	B	13:00	経済指標を考える会
2	木	市体育館	13:00	ピンポンの会
		B	13:00	囲碁将棋
3	金	B	13:00	よろず討論会
4	土	ハピリン4F	13:30	芸能クラブ
		B	13:00	卓話を聞く会
5	日			
6	月	B	13:00	合唱サークル
7	火	B	13:00	映画鑑賞会
8	水	B	13:00	囲碁将棋
9	木	B	13:00	易しい科学の話
10	金	B	13:00	YouTubeを楽しむ会
11	土			
12	日			
13	月	市体育館	13:00	ピンポンの会
		B	13:00	新聞記事を読む会
14	火	B	13:00	運営委員会
15	水		13:30	うたのサロン
16	木	B	13:00	囲碁将棋
17	金	B	13:00	歴史を楽しむ会
		ハピリン4F	13:00	夜明けの会
18	土	B	13:00	川柳同好会
		B	10:00	私の健康法
19	日			
20	月	市体育館	13:00	ピンポンの会
		B	13:00	短歌の会
21	火	ハピリン 4F	10:00	楽しい暮らし方
		B	13:00	映画観賞会
22	水	B	13:00	ネットで世界旅行
23	木			
24	金	市体育館	13:00	ピンポンの会
			13:00	カラオケうた会
		B	10:30	有望投資銘柄討論会
25	土		13:00	気軽にカラオケ
26	日			
27	月	B	13:00	新聞記事を読む会
28	火	B	13:00	音楽鑑賞会
29	水			
30	木		13:00	例会

健康マージャンは、3FA室で毎週火,金,土,日曜日に開催



石窟寺院

令和五年十一月の行事予定
例会講演
デヌード講演会

歴史を楽しむ会 「三国湊と福井藩」

上清一氏

た
だ
き
ま
す。

平頃に坂井郡
市府領になつ
た。福井藩は
つていて、
話をさせてい

映画観賞会

からないので、
話します。

古代の遺跡、茶園、国立公園、文化的な名所がありま
す。シギリヤ岩の石窟寺院や古代都市アンラドゥナなど歴史的な遺産も見に行きま
まよう。

このことでした。次は八番目になりますが、寺岡顧問が主宰する「私の健康法」の活動紹介でした。健康に関する情報交換が主ですが、今年度からは、県立大考案のオーバルフレール体操をすることにして、動画を見ながらみんなで体操をしました。ただ、パソコンの操作ミスがあり、後半は寺岡さんに合わせての体操になりました。

九番目は、YouTubeを楽しもうというサークルの紹介でした。主宰者は松島さんで、動画の選択は、池田さん、富士さんを入れた三人で決めていること、そして、これまで紹介してきた動画の主な分野と、実際の視聴例として、人と一緒に踊る動物、物を運んだり、投げたり、階段を登つたりする最新のロボットの動画を紹介しました。

次は、経済指標を考える会と有望投資銘柄討論会の紹介で、主宰者の酒井さんが口頭で、投資には、世界の経済の動きや、株価などを変動させる要因を勉強しておく必要があると話されました。

次は囲碁将棋の紹介ですが、週に四回サークルを開いているので、興味のある方はぜひは参加してほしいというこ



楽しい暮らし方の ファッショントレンド

見なか福井いじりの體を唄いました。

閉会の辞は、副会長の吉岡が行いました。サークル活動発表会が、滞りなく行われたことは、周到な準備をされた小林会長と澤村事務局次長ほか、関係者のご努力であり、ここに厚く御礼を申し上げます。

記事の訂正

先月の第五十七号新聞に掲載した佐々木晃一氏のエッセイで、「福井城址に再建する坤櫓（ひつじさるやぐら）の準備金として七千八百円が計上されました」

記事の訂正

閉会の辞は、副会長の吉岡が行いました。サークル活動発表会が、滞りなく行われたことは、周到な準備をされた小林会長と澤村事務局次長ほか、関係者のご努力であり、ここに厚く御礼を申し上げます。

林会長の指導で、会員が古い和服をリメイクした洋服を着てのファッショントレードでした。着る人も見る人も樂しまざに楽しい暮らしが方の披露でした。

最後は、短歌の会の紹介で主宰者の寺岡顧問が発表されました。短歌の会の発表句を配布し、パネルにも貼りだして、参加者に最もよいと思う句に、赤い丸印を貼つてもう方法で優秀句を選ぶという新しい試みをされました。その結果、最優秀句は小坂さんの奥さんの句が選ばれました。閉会の前には、あらかじめ配布された歌詞と楽譜を見ながら福井いきいき会の歌

唱サークルでした。十三名の会員が揃いの上下白黒の服装で、和田豊襄さんの伴奏の下、「この街で」など四曲を合唱されました。

次は、吉岡副会長が主宰する三つのサークルの映像による紹介でした。まずインター ネット世界旅行では、これまでに旅した欧洲とアジアの訪問国を地図上で赤マークで示した後、グーグルマップのスクリーンに映して見せました。

トリートビューという機能を使つことにより、ほぼ、世界中のどこへでも飛んでいけるとして、アルプスのマッター ホルンの登山道やエジプトのピラミッドの頂上などをスク リーンに映して見せました。

易しい科学の話は、今年度に紹介したテーマの一覧と、「Q=ヨーロン」という神経細胞群を刺激すると、人間も冬眠できる可能性があることが発見されたことや、日本人が毎年受賞しているおかしな研究をした人に与えられるイグノーベル賞と、その滑稽な、授賞式の発模様を紹介しました。新聞記事を読む会について予定時間を過ぎたため紹介ができませんでしたが、毎回活動発に会話をある楽しい会であることをだけを紹介しました。

次の発表は、芸能俱楽部の演劇「袋の中身」でした。あ

プライズがありました。直別参加された中に鳥山恵輔さんと、いう日本料理橋の料理長をされている大きな体の男性がおられました。実は鳥山さんのご子息は、大相撲の北乃庄というお相撲さんでした。先の大相撲では、序二段で六勝一敗の好成績をあげ、来場所は、三段目まで昇進することが決まります。隣の石川県からは、幕内力士も多く出ていますが、福井県には久しく力士が出ていません。みんなで応援しようと誓いました。



合唱サークルの発表

に到着し、楽しい旅行を終了しました。

今回の旅行は、大野さん、小坂さん、安本さん、豊島さんが、「いこまプランニング」の生駒さんの「コーディネーターの下に計画され、遂行されました。添乗員の大草さん、バスの運転手にもお世話になりました。厚く御礼を申し上げます。

川柳同好会	十月の優秀句	と書きましたが、正しくは 「七千八百万円」の間違い でしたので、お詫びして訂 正いたします。
希望とは子らの笑顔が 羨ましい憎たらしいは	八冠は悔し涙が ばねとなる	澤村 玲子
豪華版	ブレーキが効かない 日本の赤字額	大野 勉
年金日夕飯おかげは	増永 一夫	裏おもて
松島 成美	南 部 歳 子	骨密度
新田ヨシエ	検査の前に じやこを食べ	吉岡 芳夫
千田 節子	年金日夕飯おかげは	A I が我が子の顔を 予測する
吉田美恵子	ゴミの山	思慮足りぬ怒つて いるよな
小坂 武士	横綱か	ウインドー映りし姿
今お荷物	お年寄り昔尊敬	ウインドー映りし姿

る村で、おじいさんはおばさんが畠で野菜をつくり村民に配つていまつたが、おじいさんが畠に袋が落ちているのを見つけ、中を見ると小判が戻ってきたときわからぬいたくさんありました。自宅に持ち帰ると落し主が探しに戻つてきました。帰つておばあさんにその話をしていたら泥棒が聞いていて、その袋を取りに行きました。ところが中身が汚物だつたので腹いせに、おじいさんの家に袋を放り込んでいきました。翌朝、袋に気づいたおじいさんが中を見ると小判がたくさんありましたので、村人たちに分けられることにしました。村人たちは大変喜んで、みんな感まで立てたといった内容でした。

次の発表は、主宰者井上さんの歴史の会の発表でした。会場に設置したパネルには、これまでに歴史を楽しむ会で取り上げた講演題目を掲示してあるので見てほしいと話された後、当日の話題として、どうして福井はお堀に囲まれた城跡に県庁があるのかと、昔は福井駅の真ん前まで古閑堀があつたのを埋めてしまつたのはなぜかというお話をされました。それは、松平家の経済的な問題と、跡地の利用

故山田文雄氏

衣替え 計報 あら！ここに
あつた缶の底 小林 久子

高谷三恵子

ほどほどと まあまあ
できた金婚よ

当会の顧問で、高い立場
から会の運営にご助言をい
ただいておりました山田文
雄氏が、十月二十四日に肺
炎で逝去されました。

氏は、福井新聞社の編集
局長、専務取締役を歴任後、
取締役副社長を務められた
方ですが、当会の会員とし
ても、新聞を読む会、よろ
ず討論会、合唱、カラオケ
にも気軽に参加され、例会
では福井新聞百二十周年の
歴史についてのご講演、当
新聞にはゴルバチョフと面
会したご経験や母校大野高
校に思いを馳せるエッセイ
などの寄稿、運営委員会で
は議長、また当新聞の作成
発行については、当初から
激励と丁寧なご指導をいた
だいていました。

山田氏のご逝去を悼みご
冥福をお祈り申し上げます。

の希望者が殺到したため、県に無償で譲渡することになったこと、堀を埋めたのも、松平家の経済的な問題のためだつたそうです。

次は、映画観賞会の紹介でした。このサークルは、月に二回、邦画と洋画が交互に上映されることと、吉岡と佐々木さんの二人が交代で担当していること、毎回三つの候補映画が示され、参加者の挙手で上映する映画を決めていくこと、担当者が吉岡の場合ほんとうから選んでいるが、選ばれた映画がすぐに上映できることが実演しました。佐々木さんが担当の時は、候補映画の概要を書いた資料で内容を紹介しています。直近の上映映画は、ビルマの堅琴で、参加者が涙を流しておられたと話されました。

次は、大野さんが主導するようす討論会と卓話の会の紹介でした。活動状況は一ページの配布資料に書かれていて、卓話の会は、あらかじめ話す人を頼むことはしないで、参加者に自発的に何かの話をしてもらつようとしていること、ない場合は主宰者の大野さんが話をされることが多いとしている



故山田文雄氏